

# 欧州印刷業界 NEWS



- powered by drupa -

## 2016 年 1 号 (薫風)

早くも初夏の匂いが感じられる今日この頃、貴殿におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、このところ欧州から聞こえてくるニュースは、やはり難民問題とテロが多いですが、なかには明るいものもあります。例えば、ドイツ機械メーカーの輸出が好調で、新記録を達成、などです。

今回の、欧州印刷業界 NEWS・2016 年 1 号では、次のテーマを取り上げます。

- [トレンド](#) 包装印刷市場の展望、新聞社の新ビジネスモデル、3D 印刷の応用
- [業界・企業ニュース](#) 独機械メーカー輸出統計・業績、主要企業の動向
- [メッセ情報](#) drupa 2016 直前情報、All in Print China 2016

ぜひ、最後までご覧ください。

### 第 1 部：トレンド

#### 包装印刷市場は、さらに拡大

アイルランドの首都ダブリンに本社がある、市場調査会社『リサーチ・アンド・マーケット』は、2016 年～2020 年の包装印刷市場をグローバルに調査し、結果を発表しました。それによりますと、包装印刷市場の規模が、年平均で 6.02%増加する、と予想されています。地域ごとに見ると、なかでもアジア・太平洋・オセアニアの発展途上国において、力強い拡大が見込まれています。その背景として、同地域に居住する人々の収入が増加することが、挙げられていますが、前提として、デジタル印刷機械への投資の必要性についても、言及されています。

その動向は、欧州の印刷・包装機械・設備メーカーにとって、よい影響を与えています。例えば、独印刷機械メーカー第 2 位である KBA 社の最新発表によると、現在製造中、あるいは受注している機械の 7 割を、包装印刷機械が占めています。また、包装ソリューションを提供する Krones 社は、ラベルを使用せず、ガラスびんや PET ボトルなどの飲料容器に直接印刷する『DecoType』を世に送り出しました。同社によれば、その生産能力は 12,000 本/時間、とのことでした。

ハイデルベルグ社も、包装印刷市場に、積極的にソリューションを提供しています。その姿勢

がよくあらわれているのは、メディアで話題になっている『マイ・ミュージリ (mymuesli) 』社の、独・ハイデルベルグ市にある店舗です。同店では、種類豊富な素材から、オリジナルのミュージリを作ることができるのに加え、そのミュージリを入れる缶に、自分が選んだ絵柄を直接印刷できる、というサービスを提供しているのですが、そこに、ハイデルベルグ社の Jetmaster Dimension 機が取り入れられています。



画像：2016年1月5日付 [www.verpackungsrundschau.de](http://www.verpackungsrundschau.de) 内記事



もうひとつの応用例は、独・ドルトムント市にある KHS 社が、ベルギーのビール醸造所 Martens 社に提供したソリューションです。『Direct Print Powered by KHS』と称する設備は、PET ボトルに直接ビールのブランド名と製品情報を印刷します。醸造所によれば、紙のラベルを使用しないことで環境に配慮でき、直接ボトルに印刷することで、高級感を表現できる、とのこと。KHS 社は、ボトル一本一本に異なる情報を印刷できるデジタル印刷機械を、2016 年半ごろから Martens 社に納品する予定だそうです。

画像：2016年3月24日付 [neue verpackung online](http://neue.verpackung.online) 内記事

出典：2016年3月24日・3月22日、2015年11月9日付 [www.packaktuell.ch](http://www.packaktuell.ch)  
2016年3月24日付 [neue verpackung online](http://neue.verpackung.online)  
2016年1月5日付 [www.verpackungsrundschau.de](http://www.verpackungsrundschau.de)

#### 新聞社の新ビジネスモデル ～有料コンテンツやeコマースへシフト～

ヨーロッパの新聞社は、ほかの国と同様に、広告収入が減少しており、そのため新しいビジネス

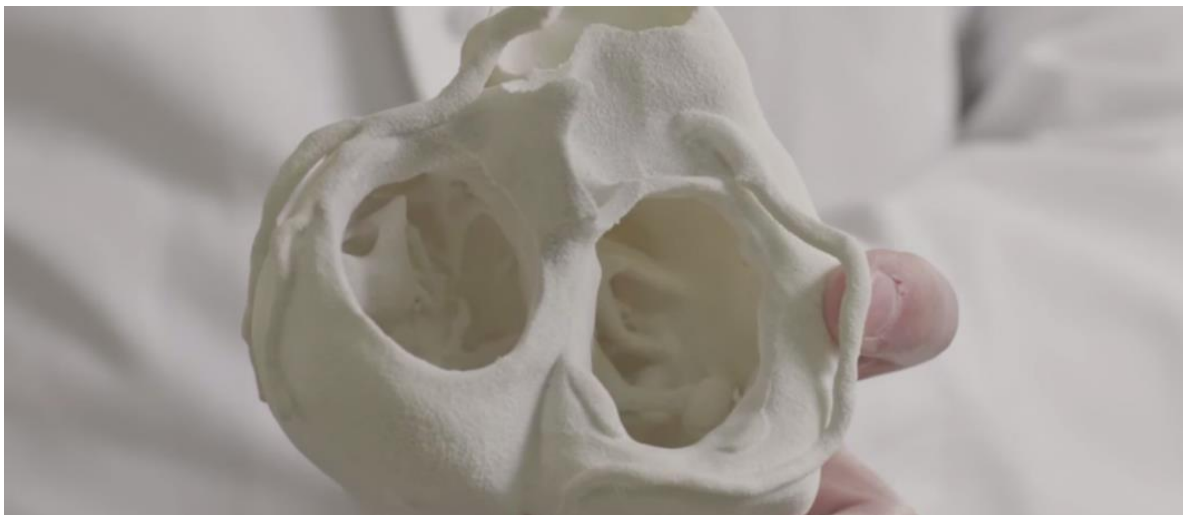
スモデルを見つける必要性に迫られています。と言うものの、媒体自体の販売価格を値上げすることは難しいことから、これまで無料で提供してきたデジタルコンテンツを、部分的に有料にすることに活路を見出しています。2015 年末時点では、定期的に新聞や雑誌をオンラインで購読する人が、ドイツの全人口（8,000 万人）の 1/4 に相当する 1,850 万人まで増加しています。この戦略をとる新聞社は、現在 120 社にもおよびます。

しかし、それだけではありません。ドイツ新聞社協会（BVDZ）が発表した調査によりますと、ドイツ新聞社の 3/4 が、製品やサービスをオンラインで販売する、e コマースを強化しようとしています。

出典：2016 年 1 月 27 日付 Welt 紙、2015 年 9 月 22 日付 FAZ 紙

### 3D 印刷 – 医療分野への応用

3D 印刷について、これまで [2014 年 3 号](#)、あるいは [2013 年 4 号](#)などをはじめ、本紙でも取り上げていますが、メディアで最近話題となっているのは、臓器・器官作成への応用です。人口動態変化がひとつの要因となり、人工歯、人工股関節や人工膝関節などのニーズが見込まれています。そこへ 3D 印刷を応用しよう、というものです。長所として、その人工関節が、患者ひとりひとりの身体に合わせて作成されるため、忍容性が高いことが挙げられます。デュッセルドルフ北東のドルトムント市にある整形外科病院のリュリング院長は、『价格的には、まだ従来品よりは高いものの、技術が発展すると、伴って値段が下がり、さらに普及してくるだろう』、と述べています。



写真の出典：<http://blog.drupa.com/printing-hearts/>

言うまでもなく、3D 印刷は drupa 2016 において重要なテーマとして取り上げられ、およそ 30 もの出展者が、同技術・応用を展示する予定です。詳細は、[drupa 2016 オンラインカタログ](#)（英語）をご参照ください。

出典：2015 年 12 月 9 日付 Welt 紙

## 第2部：業界・企業ニュース

### ドイツ機械メーカー：過去最高の輸出額を記録

ドイツ機械工業連盟（VDMA）が発表した統計によりますと、2015年のドイツ機械メーカーの輸出額が、前年比2.6%増の1,520億ユーロ（19.76兆円相当）に到達、新記録を樹立しました。国別の様子は、以下のとおりです。

- \* 米国への輸出は、前年比11%増の168億ユーロ（2.18兆円相当）を記録、これにより、輸出相手国のトップが米国となりました
- \* 前年まで1位だった中国への輸出は6%減少し、103億ユーロ（1.34兆円相当）に止まりました
- \* ロシアへの輸出は27%も減少し、47億ユーロ（6,110億円相当）という結果でした

輸出に比べ、輸入の増加は4.2%と低く、ドイツの経済成長は、変わらず輸出によるところが大きいことを示しています。

出典：2016年2月22日付FAZ紙、2016年2月10日付Handelsblatt紙

### ドイツ印刷・製紙機械メーカー、前年比受注増

最近の統計によれば、2015年のドイツ印刷・製紙機械メーカー受注量が、前年に比較して10%ほど増加しました。さらに詳しく見てみると、印刷機械メーカーが9%増、紙加工機械メーカーは21%増を記録しています。

地域別では、ドイツ国内と中国からの受注がニケタ（それぞれ13%、10%）減少しましたが、欧州域内の受注が22%もの伸びを示したため、総合で良好な結果となりました。

出典：2016年2月9日付FAZ紙

### ハイデルベルグ社 – 純利益を実現、『simply smart』をモットーに drupa 2016 へ出展

ドイツ最大の印刷機械メーカーであるハイデルベルグ社の営業年度は、4月1日から始まりませんが、2015年末時点で、採算分岐点に達し、第3四半期には700万ユーロ（9.1億円相当）の純利益（税引き後）を実現することができました。これにより、2015年4月～12月の9か月間の売上高は、前年比16%増の18.02億ユーロ（2,343億円相当）となりました。地域別では、特に米国と欧州で急増しました。数年にわたり、印刷業界、そしてそれを取り巻く環境の変化の影響を受け、リストラを断行している同社にとって、大変よろこばしい業績です。

ハイデルベルグ社は、5月31日からスタートする drupa 2016 で、『simply smart』をモットーに、インターネットを介したデータ交換、制御・修理が可能な自社製品・ソリューションなど、『プリント 4.0』を中心に展示紹介します。このなかには、富士フイルムと共同開発した、デジタル印刷機も含まれます。



出典：2016年2月16日付 news aktuell GmbH  
2015年12月9日付 www.print-und-produktion.de、2015年12月7日付 druck-medien.net

### KBA – drupa 2016 でデジタル化を力強く発信

ドイツの大手 KBA は、drupa 2016 出展参加にあたり、スローガン『Add more KBA to your day』を発表しました。この標語のもと、『プリント 4.0』を独自に進化させた、デジタル技術の強化、インターネットを利用した付随サービスを提供する新戦略『KBA 4.0』を発信します。ぜひ、ご期待ください。

出典：2016年2月1日付 druck-medien.net

### Smurfit Kappa – ブラジルで 2 社を買収

アイルランドに本社があるスマーフィット・カップグループは、ブラジル市場参入と包装ビジネスを拡大するため、ブラジルで段ボール製造業者の Embalagens Santana 社と Paema Embalagens 社を買収しました。2社の従業員数は1,700人で、これにより、2017年度の売上高は、600万ユーロ（7.8億円相当）と予測しています。

出典：2016年1月5日付 The Irish Examiner 紙

## 第3部：メッセ情報



### drupa 2016 直前情報

drupa 2016 の開催が近づいていることから、さまざまな専門媒体に本メッセが取り上げられています。デュッセルドルフ本社発信の最新情報によると、世界50か国からおよそ1,800社が、155,000㎡もの展示面積に、最新製品・ソリューションを発信します。うち、日本企業は、およそ60社（5月10日現在 / 英語版一覧は[こちら](#)）を数えます。

drupa 2016 が焦点をあてるトピックスのうち、包装印刷と3D印刷について、簡単にご紹介します。まず、包装印刷に関してですが、12号館に設置される『touchpoint packaging』特別展（12B53）が、大きな注目を集めるものと予想されます。欧州包装デザイン協会（epda）が運営する同エリアは、成功事例、最新の包装デザイン、将来の包装コンセプトが展示されるのはもちろん、ワークショップやパネルディスカッションも予定されており、双方向型の情報共有の場を提供します。

3D印刷については、本号第1部にて既述の、およそ30社が3D印刷ソリューションを発信する特別展『touchpoint 3D fab+print』が、7a号館（7aC41）にお目見えします。こちらも、ご期待ください。

弊社では、この2つのトピックスをあつかったイベントを、会期中の6月7日（火）に、『**ジャパン・デー**』と題し、日本からご参加の皆さまにご用意しております（ご参加は有料）。効果

的なご視察の一助として、ご活用いただければ幸いです。

会場巡回ハイライトツアー 10時30分～13時00分

Aコース プリント4.0、包装印刷

⇒ Bobst、HP、KOLBUS、touchpoint packaging、Windmüller & Hölscher  
などを訪問予定

Bコース プリント4.0、未来技術（＝3D印刷、機能性印刷など）

⇒ dip!、Heidelberg、Landa、LEONHARD KURZ Stiftung、OE-A  
などを訪問予定

セミナー『ドイツ・欧州印刷産業の実情・トレンド・展望』 15時00分～17時00分  
～演題～

ドイツ印刷産業のトレンド      プリント4.0

プリンテッドエレクトロニクス 革新的な印刷ソリューションとビジネスモデル

懇親会（レセプション） 18時00分～20時00分

会場巡回ハイライトツアーは、両コースともに定員に達しましたが、セミナー、懇親会につきましては、お席をご案内できる限り、お申し込みをお受けしております（注：懇親会は準備の都合上、5月31日までにお申し出ください）。参加費を含め、詳細は[こちら](#)にてご確認くださいませ。

デュッセルドルフ市は、メッセ開催中の11日間、まさに drupa 2016 一色となります。レストラン、小売をはじめ、50社以上ものパートナー企業が、特別メニューを提供、あるいは特別製品を販売します。例えば、市内で最も人気の高いショッピング・ストリート『ケーニッヒス・アレー（Königsallee）』にあるデパートでは、3D印刷で作られたマネキンがショーウィンドーを彩り、また、紙で作られた衣服のモードショーが開催される予定もあるようです。

出典：2016年3月24日付 Absatzwirtschaft 誌

2016年3月22日付 Süddeutsche Zeitung 紙

2016年1月22日付 [www.packworld.com](http://www.packworld.com)、2015年11月3日付 [americanprinter.com](http://americanprinter.com)

2016年10月は、中国・上海で All in Print China

drupa 2016 開催の半年後には、メッセ・デュッセルドルフ・上海が現地のパートナーと共催している『All in Print China 2016』が、中国・上海にて行われます。その準備は順調で、出展者数は最終的に700社に到達すると見込まれています。前回2年前と比べますと、会期が1日延び、2016年10月18日（火）～22日（土）の5日間となりました。今年のスローガンは、『Discover the Future Printing（未来の印刷を発見）』で、包装印刷、デジタル印刷、eビジネスなど、出展製品・サービスごとにホールが割りあてられます。

出典：2015年12月8日付 [druck-medien.net](http://druck-medien.net)

drupa 2016 メディア・パートナー（順不同）



日本印刷新聞社

ヨベル新聞



欧州印刷業界 NEWS・2016 年 1 号は、いかがだったでしょうか？ご意見やご要望をお聞かせいただければ幸いです。

【発行】株メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集 担当】メルケ・橋木【メッセ担当】橋木

<http://www.messe-dus.co.jp> ・ <http://drupa.messe-dus.co.jp>



本ニュースレターの掲載情報は発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。